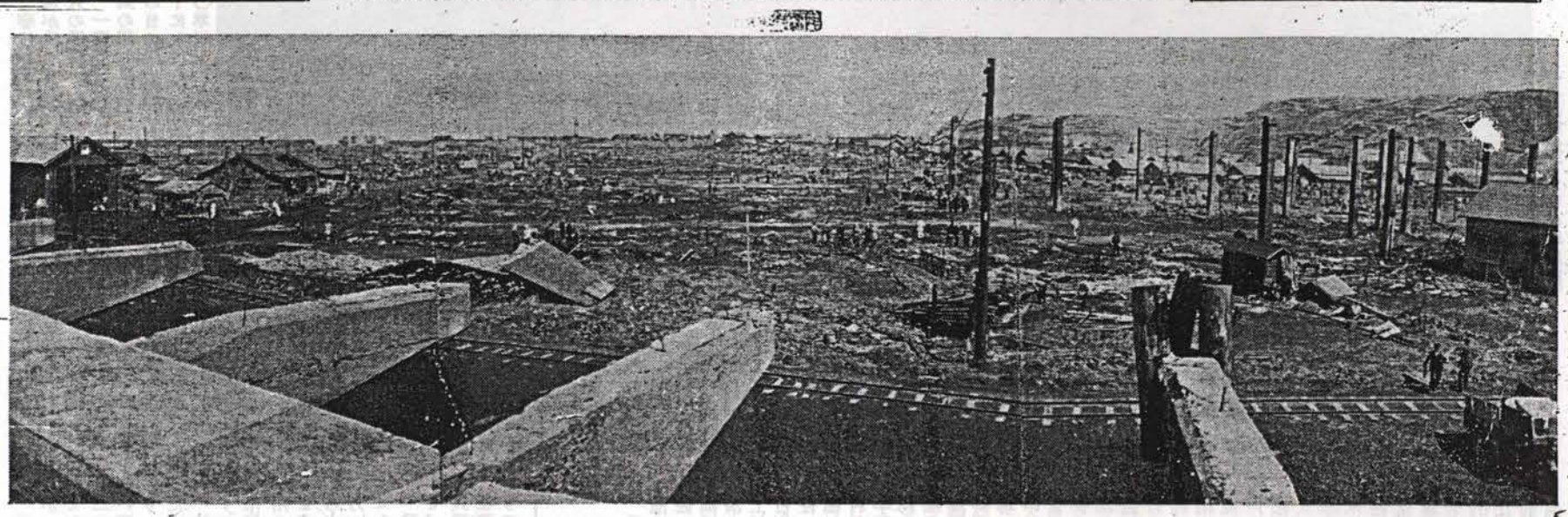
広報るもい

発行所
留萌市役所
電話（代）270番
編集人
総務課長　田邊勝郎
留萌市幸町三丁目
印刷所　金子印刷所
（毎月1回　1日發行）

物心両面の隣人愛で罹災者を救おう

（臨時特集號）



（一瞬のうちに焦土と化した元町）

罹災者救助に一層のご協力を

留萌市長　橋本作市

留萌市有史以来の元町大火の罹災者に対し各方面から温い救援の手がさしのべられ、多額の金員と数多くの物資が連日ご寄贈されておりますことは、誠に感謝にたえません。

市といたしましては、罹災者の避難収容措置に万全を期するとともに、道および国に対し次のことをお願いいたしたのであります。

一、應急仮設住宅と災害公營住宅を至急建設すること。

二、生業資金等の特別融資をすること。

三、罹災者の道民税を免除すること。

四、失業対策事業の枠、就労日数を増加すること。

五、罹災の中小企業者に対しつなぎ融資をしてほしいこと。

特に住宅問題と生業資金の融資につき強く要請した結果、住宅建設については近く決定する運びとなり、生業資金につきましては、特別な考慮をいたく確約を得たのであります。

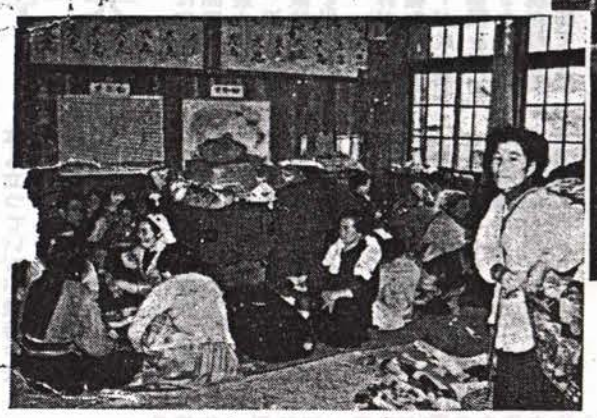
各方面から頂きました義捐金品は迅速適正を旨として配分しており、二十八日までに罹災者の方々にお渡した救援物資は毛布一、五二四枚、衣料品六、一九三点、日用品一、二五六点、日用品の購入券七十万六千七百円であります。

また罹災者にはとりあえず義捐金から一世帯当り五千円の見舞金をさし上げ急場をしのいでいたいておりますが、何分にも被災者のほとんどが家財を焼かれまことにお気の毒な実情でありますので救援金品につきまして皆様の絶大なる御協力をお願いいたす次第であります。

全市民の皆様!!

これまでの御支援に対し本紙上から厚く御礼申し上げますとともにこんご更に一層の御協力を心からお願いいたします。

（罹災者の炊出しに奉仕する日赤奉仕團と婦人會の方々）



（港北小學校收容所の罹災者）

（日赤救護班の罹災者救援）

仮設住宅一〇五戸

七日までに春日町に建設

罹災者にとつて何よりも切実な問題は、住宅問題でしよう。罹災世帯のうち一時緑故者等へ避難した世帯は一三五世帯、港北小学校に收容した世帯は一三六世帯でこの罹災者の住宅を一日も早く解決することは最も必要なことです。

現在仮設住宅と災害公營住宅の建設を道と交渉中ですが、仮設住宅七五戸、災害公營住宅四〇戸建設の見とおしがたちましたので、早速建築にとりかかることになりました。しかしこれだけでは罹災者の住宅が解決しませんので、このほかに市費で仮設住宅三〇戸計一〇五戸を春日町に建設する計画で、七日までに完成するように進めております

罹災者の皆様が一日も早く住宅に移れるように、また港北小学校が速かに正常な授業ができるよう努力しております。

全道的な募金運動を展開

道福祉協議会、報導機関の協力で

今回の災害に対しては、各方面から厚い同情を寄せられておりまして、市内の民生委員、婦人会、ボーイスカウト、各學校或いは各職場等において活發な募金運動が行われており、この運動は全市に盛り上ってまいりました。また道内は勿論本州の方々からも義捐金品が毎日続々と寄せられてきております。

更にこの度北海道社会福祉協議会、北海道新聞社、北海タイムス、NHK、HBC等のご協力で六月一日から十五日間、全道民に呼びかけ募金運動を展開していたくことになりました。

罹災者に住居の提供を

罹災さんたる二七一世帯のために仮設住宅と災害公營住宅の建設を急いでいるわけでありますが、しかしこれだけでは到底これらの人を全部収容しきれませんので、温い市民の皆様の隣人愛におうつたえして、この人達に住居をお興え下さるようお願いいたします。皆さんのうちであき家あき間など提供出來る方がおられましたならばどうか御連絡下さるようお願い申し上げます。

連絡先（市役所經済課）
（電話二七〇番）

市議会に復旧対策特別委員會を設置

元町大火の対策を協議するため去る二十四日緊急市議会が開かれました。

この議会では、災害の應急的な追加予算を決定するとともに、今後の復旧対策を進めるため「元町大火復旧対策特別委員会」を設置することになり次の委員を選任しました。

小坂茂、小澤友平、城川徹郎、國崎廣隆、黒江貞之助、森川弘男、深瀬重一、尾立源七、八幡久榮、寺西祐一、濱邊正武、大和信正、三國二郎

罹災見舞に來市の方々

二三日　内海道副知事、淺井道民生部長

二四日　松浦代議士、安井代議士、舟木道議、林代議士代理、小平村長道議幹部婦人会代理、沼田町長代理

二五日　麻里、高田、井ノ口各道議、岩見澤市長代理、花輪苫前町助役川村苫前副議長

二六日　増毛町長、増毛町議会議長、初山別村長代理

二八日　芳賀代議士、五十嵐久彌氏

（二面の続き）

△タオル五〇本　留萌商店会、△衣類三包　留萌聖公会、△衣類一包　絲丘小田中信夫、同幾夫、△馬れい薯七俵　中央青果物卸売市場仲買人組合一同、△ストーブ、衣類外一個　中央青果物卸売市場役職員一同、△馬穴五〇ケ靴下外一包　救世軍北海道連隊長原田次男、△衣類一七点　祐川三郎、△タオル二五〇本　NHK旭川放送局長、同留萌放送局長、△衣類一包　留萌青年会義所、△豆二袋　留萌聖公会、△ノート二八〇冊外學用品二包　誠文堂△衣料品、日用雑貨　深川町民生委員会、婦人会、福祉委員会、△衣類、ノート二包　誠文堂高宮政二、△馬れい薯一俵　岩淺寅次郎△靴五〇足　深瀬靴店、△下駄五〇足　森吉善八、△衣料品二〇包　鐵道官舎協力会、△手拭六〇〇本　三砿石炭株式会社、△衣類一包　留萌專門店会　△衣類二二七点　西村呉服店、△馬れい薯二〇俵　和田質屋△衣料三箱　平井呉服店、△弁当箱四〇点　小沢金物店、△手拭二一一本　浄土真宗西本願寺、△衣類二点　自衛隊加茶鐵雄、△衣類一〇点　田鎖質屋、△馬れい薯五俵　石黒行雄、△衣類二包　富樫彌吉郎、△衣類三包　東京都小林とよ、△衣料品一包　絲丘小四年中田幾則、△衣料品一包　絲丘小五年加藤秀信、△衣料品一包　聖園幼稚園中山司△エスビーカレー八六〇ケ　エスビーカレー食品株式会社北海道出張所、△衣料品九二点靴一一点　留萌繊維組合、△衣類二二点（内名）△衣料品一六三点　国保西病院職員親睦会、△飯茶碗五〇〇個　有限会社北海陶器商会、△牛乳四升　四宮経一、△正油五合瓶詰一二〇本　ヤマサ正油株式会社札幌駐在員事務所、△衣料品一包、セトモノ類一箱　伊藤醫院、△醤みそ〇〇〇匁入一五〇ケ、正油合瓶詰一九二本　日本株式会社留萌支店、△五合瓶詰一八〇本、フキ一五〇枚　野田正油株式社札幌出張所、△小包一上磯町今泉春子、△小包ケ　函館市栗田ふみ、△用品一包日雇労務者集合売店菊地利昭、△いか塩一樽　小山柾太郎、△家用品一包　新美セトモノ、△靴類衣類各一包　阿二郎、△下駄五〇足　表包　塚本保吉、△鉛筆打ノート一一〇冊　志一同（代表平井一郎）勢田清作、△手拭一本　ローソク包一〇〇ケ　売新聞社北海道管理手拭八〇本　毎日新店北城通、△包料　杉本運動具店、旭川司商事株式会社